

別記様式

令和5年度学校評価報告書（全日制）

令和6年3月31日

教育委員会教育長 様

室蘭栄高等学校長

次のとおり令和5年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

<ul style="list-style-type: none"> (1) 自主的・主体的に学ぼうとする意欲を高める学習指導の改善充実に努める。 (2) ポストコロナのもと心身共に健康で充実した学校生活を目指す健康・安全指導の充実強化に努める。 (3) 進路意識の高揚と将来の望ましい自己実現を可能とする能力の伸長に努める。 (4) 学級減に伴う教員削減への適切な対応に努める。 (5) 新たな研修制度への対応への適切な対応に努める。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
1 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別学習状況の評価ABCの導入はスムーズに導入することができた。引き続き、評価方法の妥当性を検証の継続をする。 ・ICTを用いた学習活動は徐々に増えてきた。一層生徒が主体的に取り組む場面を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○取組は十分である。 ・観点別商科について、各教科で十分な研修のもと効果的な運用が為されている。 ・ICT活用に向けて取組を積極的に実施している。効果の検証、更新方法も継続検討してほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ICTの取組先進校へ視察を行うなど、活用法に係る情報や課題を収集・共有する。また、効果的な指導方法等の改善に協働的に取り組み自己研修を深める。 	
2 生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた生活をしているものの、身だしなみ、挨拶など基本的なマナー・モラルなど、細部に渡って行き届くよう促す。 ・日常のスマートフォンの使用時間が課題。家庭での使用も含めて依存状態に陥らないため、一層使用に係る指導に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○取組は概ね十分である。 ・活気ある学校生活が戻ってきた。部活動や学校行事など、伝統を誇りに思う。 ・ICT機器としてのスマートフォンの活用など、区分けが難しくなっている。学校以外での使用について、工夫が必要である。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・4年振りに学校祭のフル開催ができた。コロナ禍前の学校祭を知らない生徒たちが新たな取組を検討できた。次年度も継続していく。 ・SNSやインターネットの適切な使用に係る指導は内容を更新しながら継続していく必要がある。また、人としてあいさつや公共でのマナーなど、様々な場面を通じ職員全体で啓蒙する雰囲気醸成する。 	
3 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部が主導となり、学年団と指導の流れを共有して、伝統的な指導の一貫性を確保し、組織的に活動することができ 	<ul style="list-style-type: none"> ○取組は極めて十分である。 ・組織的な進路指導体制の確立により、進路ニーズに応じた進路実績を維持できている。

	<ul style="list-style-type: none"> た。 ・模擬試験分析会において課題を学年団と教科担任とが共有し、効果的な指導を展開することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のニーズを実現するため、1人ひとりと詳細な面談を行うことで、難関校への合格実績など地域の中学生から目標とされている。今後も継続してもらいたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、大学共通テストや各大学等が発信する、入試情報を収集し、多様な選抜方法に対応できる教職員を育成し、生徒の進路学習を模索したい。 	
4 健康安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ・酷暑期の学校行事における熱中症対策など、これまでにない対応に職員体制を挙げて対応し、事故を未然防止できた。 ・コロナ禍から得た教訓を活かし毎日の清掃活動・厚生委員会の活動を継続した。 ・火災や津波に関する最新の知見に基づき、本校の立地上の特性を踏まえた避難訓練を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○取組は極めて十分である。 ・緊急対応をする場合の確認・連絡・報告がスムーズに行われ、生徒の健康安全に対処できている。 ・これまでの教訓を日常生活に上手く取り入れている。 ・防災意識の向上を継続してもらいたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・酷暑や荒天など、防災情報の取得方法の構築と生徒への周知方法、正しい危機回避方法について、様々な場面で生徒が主体的に考えて行動できるような実践的な訓練を実施していく。 	
5 組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・間口減に伴う校内組織の再編成を継続した。 ・校務運営会議で緊急的な審議を行う機会があったが、教職員の相互理解が得られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○取組は概ね十分である。 ・次年度、教職員定数の完成年度となる。見通しをもった組織運営をお願いしたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・各種分掌、学年、委員会業務を精選して再構築を実施する。 	
6 研修	<ul style="list-style-type: none"> ・個人研修記録の導入により、研修環境の醸成を促した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○取組は概ね十分である。 ・新しい研修制度について、積極的な取組が見られる。今後も継続してもらいたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・職場研修の機会を積極的に提供する。また、校外へ積極的に出張して研修できる風土を醸成する。 	
7 保護者・地域住民との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症対策など、PTA役員会とも情報共有を図りながら取り組んだ。 ・4年振りにPTA研修、研修旅行をフル企画で実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○取組は概ね十分である。 ・役員に相談するなど、学校の運営に参画意識を持てるなどの工夫がある。 ・地域の「人、もの、こと」を活用できている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA役員と学校が協力しながら、新しく取り入れるもの、継続するものを吟味しながら検討を続ける。 	
8 施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策のノウハウは、インフルエンザ感染症のまん延防止に役立った。(空気清浄機の整備) ・インターネット環境は更新作業など、順調に進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○取組は極めて十分である。 ・ネット環境等の更新は滞りなく継続してもらいたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、日常的な維持・管理の徹底に努める。 	

9 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・各種業務のICT化を継続する。 ・生徒、保護者へのWebを活用したアンケートは一定の定着を得られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・種々の活動を精力的に行っている。保護者・地域との連携を継続して欲しい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者が使いやすいインターフェイスを模索する。 	

公表の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページ上での公開 ・PTA総会及び保護者懇談会等での説明 	
-------	---	--